



タイ人日本語学習者のための使用力の養成を目的とした語彙 教材開発の試みとその作成方針

An Attempt to Develop Vocabulary Teaching Materials Aimed at Cultivating Practical Skills to Make Sentences for Thai Learners of the Japanese Language and the Guidelines for their Creation

傍士 豊*¹

Yutaka Hoji*¹

要旨

タイの日本語教育において、語彙指導がなされず、学習者任せになっていることの弊害が見られるのではないかと。例えば、インターネットに過度に依存したり、日本語をタイ語と比較した指導がなされないために、不自然な文が作られたり、単語の使い方を間違える。仮に、実際に話したり、書いたりするのに必要な力の養成を目的とした語彙教材があり、それを用いて語彙指導をすれば、より適切な文を作る手助けとなるのではないかとと思われる。本稿では、そういう語彙教材の作成方針を、1) 見出し語 2) 品詞 3) 語義 4) 使用パターン 5) 類義語 6) 用例・コロケーション 7) 練習問題に分けて考察する。

キーワード: 語彙教材 教材作成 教材開発

* Corresponding author, e-mail: Hoji_y@hotmail.com

¹ อาจารย์ คณะมนุษยศาสตร์และสังคมศาสตร์ มหาวิทยาลัยมหาสารคาม

¹ Lecturer, Faculty of Humanities and Social Sciences, Mahasarakham University



Abstract

In Japanese language education in Thailand, there seems to be some negative effects caused by the lack of vocabulary instruction, which is left up to the learners. For example, excessive reliance on the Internet and a lack of instruction comparing Japanese with Thai can lead to unnatural sentences and incorrect use of words. If there were vocabulary teaching materials aimed at cultivating the skills necessary for actual speaking and writing, and vocabulary instruction based on these materials, it would likely help students produce more appropriate sentences. In this paper I will present the policies for creating such vocabulary teaching materials, by dividing them into 1) head words 2) parts of speech 3) word meanings 4) usage patterns 5) synonyms 6) examples and collocations and 7) exercises.

Keywords: Vocabulary teaching materials Teaching material creation Teaching material development

はじめに

日本語教育における語彙指導は十分であろうか。ほとんどが学習者任せではなかろうか。山口・山下（2020）は第二言語学習において語彙は教室外で自主学習で覚えなければならないことを指摘した上で、「日本語教育でも、初級等の文法が中心となる授業構成では、語彙指導に時間をかけることは難しい」と述べている。

文法や読解の授業の場合はまだしも、語彙を実際に使う力が求められる会話や作文の授業では語彙指導の重要性はさらに増す。ところが、語彙指導に時間をかけることが少ないのではないだろうか。

1. 語彙教材が必要な理由

萩原廣（2021）は語彙を話したり書いたりする時に使う「使用語彙」と意味がわかるだけでいい理解語彙にわけている。例えば、日本語能力検定受験対策用の単語集は後者の知識の習得が目標であり、使用語彙力の養成を目標とした教材は存在するだろうか。

著者は2022年に著者が所属する日本語コースの3年生と4年生約70名に対し、「文を作るとき何をどう用いるか」といった内容のアンケートを実施したことがある。具体的な数値を集計したわけではないが、もっとも多かった回答は「グーグルに訳させ、その日本語を自分で修正する」というような内容であった。おそらく、そういう作業の結果であると思われるが、作文を書かせると、N3にも合格しておらず、履修科目に不合格になるレベルの学生が、N1レベルの文型や、複雑な構造の文や、フォーマル度が高い表現を使っていたりする。また、このアンケートで、オンライン辞書や辞書アプリを使うと答えた学生も多かったが、解説が少ないという不満が多かった。

作文や会話の授業で、日本語とタイ語を比較した語彙指導が不十分であることが原因で生じる誤用を目にする。例えば、“น่ารัก”の訳語である

「かわいい」をはるか目上の人物に使ったり、「上手な」は“เก่ง”と習っているため、「勉強ができる」と言うべきところでも「上手だ」を使ったり、住居に関する作文を書かせる場合、“ห้องพัก”は「寮」と理解しているため、



「マンション」という語を使うべき場合でも「寮」と言ってしまう誤用がある。

仮に、使用を目標とした語彙教材、つまり、日本語の単語の意味をタイ語と比較し、詳しく説明していて、使用パターン、共起制限を明記していて、用例が豊富である教材、つまり、タイ人日本語学習用の日タイ辞書のようなものがあり、さらに、その内容を解説する授業があれば、インターネットに過度に依存することを避けられ、より適切な文を作る手助けとなるのではないかと思われる。

2. 教材開発において考慮すべき点

著者の場合、見出し語として選定された単語は、デジタル大辞泉で、定義と品詞を調べた上で、日本語能力検定対策用の単語集やインターネットで複数の用例を探し、著作権に触れないように調整したうえで、作業に協力してくれるタイ人とともに、タイ語訳を試みた上で、採用すべきタイ語の語義を決定している。以下、1) 見出し語 2) 品詞 3) 語義 4) 使用パターン 5) 類義語 6) 用例・コロケーション 7) 練習問題の順で、作成方針の詳細を提示する。

3. 見出し語

3. 1 見出し語の数とレベルと種類

メーターピスィット (2014) は、中級まで活用できる収録語数 1 万語の学習者辞書の編纂に言及し、「授業で扱える語彙数が少ないので、語彙指導のための教材の開発が必要不可欠である」と述べている。このことは、作文用の語彙教材にもあてはまる。なぜなら、学習者の表現意欲を満たすためには、作文のテーマに関連する語を当日本語コースの基幹教材である『みんなの日本語』や日本語能力検定対策用の単語集から選ぶだけでなく、使われる可能性がある単語を幅広く提供しなければならないからだ。また、タイ在住のタイ人学習者の便宜を図って、タイの文化を表す単語を提供する必要がある。そのため、語彙のレベルは、初級の作文のクラスであっても高くなり、その数が増えるのは避けられない。

3. 2 品詞による見出し語の独立化

下記、4 項の使用パターンで取り上げた例では、副詞としての用法と名詞としての用法を区別せずに〈副・名〉という形でまとめて提示した。これは、区別して提示すると返って煩雑になり、学習者の理解の邪魔になる恐れがあるからだ。一方、品詞ごとに分けて見出し語として提示するの

が有益な場合もある。以下、名詞と形容詞、及び、名詞と動詞の場合を考察する。

(1) 名詞と形容詞

例。必要—必要な

ARC ACADEMY (2561) は以下のように、「ひつよう〈な〉」という見出しを与えており、それに対して、名詞、な形容詞という補足を入れ、ふたつの語義を与えており、名詞としての用例とタイ語訳、な形容詞としての用例を与えている。

ひつよう〈な〉 学校では学生カードを作るひつようがあります。(名)
これは授業にひつような本です。(ナ形)

一方、ยุคิโกะ ยามาซากิ (2558)は、「必要な」という見出し語に対し、“จำเป็น”という語義を与えた上で、「会議に必要な書類を、家に忘れてきてしまったんだ。」という用例を挙げている。

著者の場合は、まず、名詞の「必要」を見出し語にし、公式を提示し、「必要」の前に名詞修飾部があることを示す。次に、な形容詞の「必要な」を見出し語にし、名詞修飾の役割をする場合と、述部で使われる場合のふたつの用例を提示する。

必要〈名〉[なくてはならないこと=要ること、しなければならないこと การที่ไม่มีไม่ได้ การที่ต้องมี การที่ต้องทำ] “ความจำเป็น”, “ความต้องการ”

■[辞書形+必要がある/ない] “จำเป็นต้อง”

このレストランは予約する必要がある ถ้าตาดาคารแห่งนี้จำเป็นต้องจองก่อน
それほど急ぐ必要はない ไม่จำเป็นต้องรีบร้อนขนาดนั้น



必要な 〈な形〉

- [(名詞+に/辞書形+のに) + 必要な + 名詞] “จำเป็น”, “ต้องการ”

登山に必要な道具を買う ซื้ออุปกรณ์ที่จำเป็นสำหรับการปีนเขา
インターネットのおかげで必要な情報を簡単に見つけることができる
สามารถหาข้อมูลที่ต้องการมาได้ง่าย ๆ เพราะอินเทอร์เน็ต

- [名詞+が必要だ] “จำเป็น”, “ต้องการ”

この仕事はコンピューターのスキルが必要だ ทักษะด้านคอมพิวเตอร์จำเป็น
สำหรับงานนี้

(2) 名詞と動詞

第3グループの動詞とその名詞形は、通常「勉強(する)」のようにひとつにまとめて載せられているが、実際の使用能力を高めるためにはわけて載せるべきだと思われる。

勉強 〈名〉

- ①[科目を先生に習うこと การเรียนวิชาเรียนกับผู้สอน] “การเรียนหนังสือ”, “การเรียน”

日本語の勉強はどうですか เรียนภาษาญี่ปุ่นเป็นอย่างไรบ้าง

僕は大学で日本語の勉強をしています ผมเรียนภาษาญี่ปุ่นอยู่ที่
มหาวิทยาลัย

×日本語の勉強しています

(「勉強」は名詞なので、それを修飾するのは「名詞+の」勉強は
คำนาม ดังนั้นส่วนขยายคือ คำนาม+の)

わたしは勉強が好きではありません ฉันไม่ชอบการเรียนหนังสือ

わたしは勉強ができません ฉันเรียนไม่เก่ง ฉันเรียนหนังสือไม่เก่ง

② [自分で学問の本を読むこと การอ่านหนังสือเรียนด้วยตัวเอง “การอ่านหนังสือ”

あしたテストだから、今日は朝まで勉強です。พรุ่งนี้มีสอบ วันนี้เลยจะ

อ่านหนังสือจนถึงเช้า

勉強のやり方はひとによってちがう。วิธีการอ่านหนังสือแตกต่างกันไป

ขึ้นอยู่กับคน

勉強のやり方を変える。เปลี่ยนวิธีการอ่านหนังสือ

勉強する (動)

① [科目を先生に習う เรียนวิชาเรียนกับผู้สอน] “เรียนหนังสือ”, “เรียน”

僕は大学で日本語を勉強しています。ผมเรียนภาษาญี่ปุ่นอยู่ที่

มหาวิทยาลัย

(「勉強する」は他動詞で、その目的語を「を」で表す。勉強する เป็น สกรรมกริยา ดังนั้นจะใช้ を ซึ่กรรมของคำนั้น)

② [自分で学問の本を読む อ่านหนังสือเรียนด้วยตัวเอง] “อ่านหนังสือ”

明日はテストなので、今日は遅くまで勉強します。พรุ่งนี้มีสอบวันนี้เลย

อ่านหนังสือจนดึก

テスト前に部屋で友だちと勉強する。อ่านหนังสือกับเพื่อนในห้องก่อนสอบ

3. 3 見出し語の言語

基本的には日本語だが、下記の3種類の場合にはタイ語の見出しを採用した方が、学習者の語彙の理解を促進すると思われる。

(1) タイ語にあって日本語にはない、もしくは、日本語ではあまり使われない語の場合



例。บายเนียร์ 「卒業生を送る会」、วันไหว้ครู 「先生を敬う日」、สอบเก็บคะแนน 「中間・期末テスト以外のテスト」、คะแนนเก็บ 「中間・期末テストの点数を含まない点数」

(2) 訳し間違いやすいタイ語表現

例。ขับรถเร็ว 「スピードを出す、スピードを出して運転する」
× 「速く運転する」

(3) 日本語とタイ語の意味関係がわかりづらかったり、学習者が誤って理解している語の場合は、日本語とタイ語の両方を出す。例えば、住居の種類について書く場合、「寮」、「マンション」という語の使用が想定される。以下がその語義説明、語義、用例である。

寮 [会社や学校などが管理する、従業員や学生のための集合住宅 ที่อยู่อาศัยรวมสำหรับนักเรียน นักศึกษาหรือพนักงานที่อยู่ภายใต้การบริหารของโรงเรียน มหาวิทยาลัยหรือบริษัท “หอพัก”, “หอ” 会社の寮 หอพักของบริษัท หอของบริษัท 社員寮 หอพักพนักงาน 大学の寮 หอพักของมหาวิทยาลัย 学生寮 หอพักนักศึกษา 男子寮 หอพักชาย 女子寮 หอพักหญิง

マンション [3 階建て以上の集合住宅 ที่อยู่อาศัยรวมที่มีตั้งแต่ 3 ชั้นขึ้นไป] [分譲 การแบ่งขาย] “คอนโด” ② [賃貸 การให้เช่า] “แมนชั่น”, “หอพัก” “หอ” 女性専用マンション หอพักสตรี หอหญิง

まとめると、タイ語で「寮」は“หอพัก”, “หอ”、“マンション”は“คอนโด”, “แมนชั่น”, “หอพัก”, “หอ”ということになる。つまり、「寮」にも「マンション」にも“หอพัก” “หอ”という語義があてはまることとなり、学習者は“หอพัก”, “หอ”を日本語に訳す際、「寮」か「マンション」かを選択しなければならない。しかし、“หอพัก”, “หอ”=「寮」だと思いついでいる学習者が多く、マンションに住んでいるのにかわらず、寮

という語を使ってしまう学習者が多い。日本語の見出し語以外に、以下のようなタイ語の見出し語をつけることで、この誤りを防ぐことができる。

หอพัก/หอ ① (自分で借りている) マンション ② (大学の) 寮

〈4〉日本語とタイ語が一致しない場合

「トイレ」の語義は“ห้องน้ำ”でいいと思うが、タイ語の“ห้องน้ำ”には「トイレ」の意味以外に、「トイレつき浴室」もあるので、下記のように、日本語の見出しの次にタイ語の見出し語をつけて意味の対応関係をはっきりさせる。

トイレ ห้องน้ำ

ห้องน้ำ ① トイレ ② トイレつき浴室

4. 品詞

品詞に対する学習者の理解を確実なものとするために、既存の単語集にも記載がある通り、下記のように見出し語には品詞の種類を示す記号つけることが必要となる。品詞に対する意識がないと、使い間違える可能性が高くなるからだ。例えば、「将来」には副詞の用法があり、単独で用いられることができることわかり、「将来に教師になりたいです」のような誤用を避けることができる。

〈名〉、〈動〉、〈名・動〉、〈代〉、〈い形〉、〈な形〉、
〈副〉、〈名・副〉、〈接〉、〈接頭〉、〈接尾〉、〈感〉

4. 1 助詞

共起しやすい助詞を明示することにより、学習者の理解を高めることができる。「留学する」のように「へ」でも「に」でも可能な場合は、その両方を表示し、「夏休み」のように「に」があってもなくてもいい場合も下記のように示す。

〈に〉 出席する
〈に／へ〉 留学する
夏休み 〈に／×〉



4. 2 動詞

動詞の場合は、第Ⅲグループの動詞の場合は〈動〉という記号を使って示せば十分かもしれないが、Ⅰ、および、Ⅱグループの動詞の場合は、それ以上に、より詳しい情報が必要となる。エリゴ อันโตและคณะ (2560) は、「ガ下がる」、「ヲ下げる」のように自動詞の場合は「ガ」、他動詞の場合は「ヲ」を表示している。著者は、下記のようにグループ分け、および、共起する助詞を表示する。グループを示すことにより、活用のミスを防ぐことが期待される。

わかる 〈Ⅰ・が〉

さらに、自動詞と他動詞をペアで理解すべき動詞の場合は、グループと自他の区別、さらに共起する助詞を明示する。

下がる 〈Ⅰ・自・が〉

下げる 〈Ⅱ・他・を〉

5. 語義

5. 1 語義説明の提示とタイ語訳

学習者が語の意味を正確に理解できるように見出し語に意味に近い語を提示するだけでなく、語義を説明する日本文、及び、そのタイ語訳を提示する。例えば、「芸術」と「美術」のようにタイ語に訳すと“ศิลปะ”という同じ語義になる語の場合は特に有効であるし、以下、「外出先」のように説明しにくい場合も同様に有効である。角括弧の内部が語義説明であり、その外部に語義、そして、用例を掲載する。

外出先 〈名〉 [家や勤め先から出かけて行ったところ สถานที่ที่ไปถึงหลังจากออกจากบ้านหรือที่ทำงาน] “ข้างนอก”

外出先 から会社に帰ると、客が私を待っていた พอกลับมาบริษัทหลังจากไป

ข้างนอก ก็มีแขกมารอฉันอยู่

外出先でトイレに行きたくなかったが、トイレが見つからなかったตอนอยู่
ข้างนอกอยากเข้าห้องน้ำแต่หาห้องน้ำไม่เจอ

5. 2 語義説明の調整

国語辞典に掲載されている語義説明が難解な場合は、平易なことばで提示し、学習者の確実な理解を促すためにそのタイ語訳をつける。例えば、「翌週」という語に対して、『デジタル大辞泉』は「過去や未来の週を基点として次の週」という語義説明を与えている。「基点」という語が学習者にとって難解だと思われるので、下記のように「過去や未来のある点から見た次の週」にして、タイ語訳を与える。

翌週 〈名・副 (に/×)〉 [=次の週。過去や未来のある点から見た次の週 สัปดาห์ถัดไปที่มองจากจุดของอนาคตหรืออดีต]

5. 3 語義説明に混同しやすい類義語の記述を入れる上記「翌週」に対して混同して使いやすなのが「来週」なので、下記のようにその記述も掲載する。

翌週 〈名・副 (に/×)〉 [=次の週。過去や未来のある点から見た次の週 สัปดาห์ถัดไปที่มองจากจุดของอนาคตหรืออดีต。「来週」は「今週」から見た次の週 「来週」 เป็นสัปดาห์ถัดไปที่มองจากจุดมุมมองของ「今週」]

5. 4 文脈に適したフォーマル度の語の使用を促進するために、フォーマル度を明示する。

ハマる 〈I・に・俗語〉 [趣味や食べ物などに夢中になって抜け出せなくなっている หมกมุ่นในงานอดิเรกหรืออาหาร เป็นต้น จนเอาตัวออกมาไม่ได้ “ติด” 最近 ROV ゲームにはまっています ช่วงนี้ติดเกม ROV อยู่]

5. 5 語義の分割

見出し語に対して与えられている語義がひとつであったとしても、それをタイ語に訳した場合複数の語義が出てくる場合は、そのタイ語の語義にしたがって語の意味を分割する。例えば、「授業」は『デジタル大辞泉』によると「学校などで、学問や技芸を教え授けること」と定義されてい



る。また、ARC ACADEMY (2561)は“ชั่วโมงเรียน”という語義を与えており、「今日は4時まで授業があります」という用例を挙げている。しかし、この語を含む様々な文をタイ語に訳してみると、少なくとも3種類の意味に分かれることがわかった。従って、下記のような記述になった。

授業〈名〉 ①[活動する時間帯] “คาบเรียน”, “ชั่วโมงเรียน”

今日は3時まで**授業**があります **วันนี้มีคาบเรียน**ถึง 3 โมง

授業に間に合う **ไปทันคาบเรียน**

授業に遅れる / **授業**に遅刻する **ไปไม่ทันคาบเรียน**

②[活動] “การเรียนการสอน”, “การเรียน”, “ การสอน”

今日**授業**はありません **วันนี้ไม่มีการเรียนการสอน**

授業を受ける **เข้าเรียน**

授業に出る **มาเรียน**, **ไปเรียน**

授業をする **สอน**

③[科目] “วิชา”

文法の**授業**でAをとりました **ได้ A วิชาไวยากรณ์**

このように、日本語の辞書の定義はひとつでも、タイ語訳した場合、様々なタイ語訳が生じる場合は、そのタイ語訳に従って、語義の数を調整する必要がある。

5. 6 根本義の提示

複数の語義の元になる、根本義があれば、根本義も提示した上で、語義を分割させる。根本義を提示すれば、複数ある語義全体に対する理解が容易になると思われる。例えば、「大会」という語には、スポーツ、コ

ンテスト、組織の会合、祭り、の4つの語義があるが、根本義は「人がたくさん集まること」だとわかれば、4つの語義が理解しやすくなる。

大会〈名〉[人がたくさん集まること การรวมตัวกันครั้งใหญ่]

① [スポーツ การแข่งขันครั้งใหญ่] “การแข่งขัน”

学校のサッカーチームが県の大会に出場する ทีมฟุตบอลของโรงเรียนเข้าร่วมการแข่งขันฟุตบอลระดับจังหวัด

全国大会 การแข่งขันระดับชาติ, การแข่งขันระดับประเทศ

バレーボールの全国大会 การแข่งขันวอลเลย์บอลระดับชาติ

マラソン大会 การแข่งขันวิ่งมาราธอน

② [コンテスト การประกวดครั้งใหญ่] “การประกวด”

弁論大会 การประกวดสุนทรพจน์

③ [組織の会合 การประชุมครั้งใหญ่] “การประชุม”

党大会 การประชุมของพรรคการเมือง

④ [祭 “เทศกาล”]

花火大会 เทศกาลดอกไม้ไฟ

5. 7 語義の不掲載、もしくは、日本語から直訳した語義の掲載
日本語にあってタイ語にはない単語の場合、語義説明をするだけか、語義説明をしたうえで、タイ語にはない語義を与える。以下、「飲食店」に相当する語はタイ語にはなく、「二次会」に対する語義はすべてのタイ人学習者に耳慣れているものではない。

(1) 飲食店 [レストラン、食堂、居酒屋、喫茶店、ファーストフード店など、飲食できるすべての場所。สถานที่ที่กินและดื่มได้ทั้งหมดรวมทั้งภัตตาคาร ร้านอาหารตามสั่ง อีซากายะ ร้านกาแฟ ร้านอาหารฟาสต์ฟู้ด เป็นต้น]



(2) 二次会[最初のパーティーが終わってから、場所を変えて開く二度目のパーティーパーティー]ที่จัดขึ้นหลังงานเลี้ยงครั้งที่ 1 จบลงโดยเปลี่ยนสถานที่จัด] “อาฟเตอร์ปาร์ตี้”

5. 8 日本語とタイ語の語義が一致しない場合の対応

日本語の単語の持つ語義に一致する語義を持つタイ語の単語がない場合は、語義説明を与えた上で、できるだけ近い語義を持つ単語を掲載する。以下、「音楽」と「交差点」の場合を考察する。

(1) 音楽

“OxfordLanguages” n.d.によると「音による芸術。器楽と声楽とがある」となっている。この語義説明を、タイ語に訳すと ศิลปะที่ใช้เสียง แบ่งเป็นเพลงที่บรรเลงด้วยเครื่องดนตรีล้วนและเพลงที่เน้นเสียงคนร้องเป็นหลัก อาจมีดนตรีประกอบด้วยก็ได้ ぐらいであろうか。一方、“พจนานุกรมฉบับราชบัณฑิตยสถาน พ.ศ. 2554” ม.ป.ป. によると ดนตรี と เพลง の定義はそれぞれ以下のようになっている。

น. เสียงที่ประกอบกันเป็นทำนองเพลง, เครื่องบรรเลงซึ่งมีเสียงดังทำให้รู้สึกเพลิดเพลิน หรือเกิดอารมณ์รัก โศก หรือรื่นเริง เป็นต้น ได้ตามทำนองเพลง

น. สำเนียงขับร้อง, ทำนองดนตรี, บทประพันธ์ดนตรี, กระบวนวิธีรำดาบ รำทวน เป็นต้น, ชื่อการร้องแกกัณ มีชื่อต่าง ๆ เช่น เพลงปรบไก่ เพลงฉ่อย

まとめると、“ดนตรี”は「器楽」 “เพลง”は「声楽」であり、「音楽」に対しては“ดนตรี”と“เพลง”を語義として採用するしかない。結果的に下記のような記述になる。

音楽〈名〉[音による芸術。器楽と声楽に分けられる。ศิลปะที่ใช้เสียง แบ่งเป็นเพลงที่บรรเลงด้วยเครื่องดนตรีล้วนและเพลงที่เน้นเสียงคนร้องเป็นหลัก อาจมีดนตรีประกอบด้วยก็ได้] “ดนตรี”, “เพลง”

音楽を聞く ฟังดนตรี, ฟังเพลง

彼女には音楽の才能がある เธอมีพรสวรรค์ด้านดนตรี, เธอมีพรสวรรค์ด้าน

การร้องเพลง

どんな音楽が好きですか ชอบเพลงแนวไหน

(2) 交差点

『デジタル大辞泉』によると「2本以上の道路などが交わる所」となっており、タイ語訳はจุดที่ถนนมากกว่าสองสายมาบรรจบ ぐらいであろうか。ところが、この語義に相当するタイ語は見つからず、“สี่แยก”（四差路）、“สามแยก”（三差路）という語義を採用するしかない。結果的に下記のような記述になる。

交差点〈名〉[2本以上の道路などが交わる所 จุดที่ถนนมากกว่าสองสายมาบรรจบ] “สี่แยก”, “สามแยก”

交差点を渡る ข้ามสี่แยก

交差点を右に曲がる เลี้ยวขวาตรงสี่แยก

6. 使用パターン

単語を正しく配列する力を養うために公式を使う。ひとつめの例の「はじめて」は、使われる形を3つの使用パターン(■)で示してある。例えば、「はじめて」は動詞を修飾し、「はじめての」は名詞を修飾する、という具合である。「当日」は、まず根本義を提示した上で、実際の使われ方を2つの使用パターンで示してある。

(1) はじめて〈副・名〉[今までに経験していない事が起こるさま ใช้แสดงสิ่งที่ไม่เคยประสบมาก่อน]



■[はじめて→動詞] “เป็นครั้งแรก”

今年の夏休みにはじめて外国へ旅行に行きました วันหยุดฤดูร้อนปีนี้ได้ไปเที่ยว
ต่างประเทศเป็นครั้งแรก

大学に入って、はじめて一人暮らしをするようになりました พอเข้า
มหาวิทยาลัย ใช้ชีวิตคนเดียวเป็นครั้งแรก

■[はじめて+の+名詞] “ครั้งแรก”

きのうともだちとビールを飲みました。お酒を飲むのははじめての経験で
した เมื่อวานดื่มเบียร์กับเพื่อน ที่ดื่มเหล้าเป็นประสบการณ์ครั้งแรก

それは生まれてはじめての経験でした มันเป็นประสบการณ์ครั้งแรกในชีวิต

■[名詞+は/辞書形+のははじめてです] “เป็นครั้งแรก”

来月日本へ行きます。外国へ行くのははじめてです
เดือนหน้าจะไปญี่ปุ่น—ที่จะไปต่างประเทศนั้นเป็นครั้งแรก

こんなことははじめてです เรื่องแบบนี้เกิดขึ้นเป็นครั้งแรก

(2) 当日 (副・名 (に/×)) [そのことがある日、またあった日
วันที่เหตุการณ์เกิดขึ้นจริง=その日]

■[出来事を表す名詞 (試験、試合、事故など) を含む文 ประโยคที่มีคำนาม
แสดงเหตุการณ์ เช่น สอบ แข่งขัน อุบัติเหตุ เป็นต้น+当日 (に)] “(ใน) วัน~”,
“(ใน) วันนั้น”

試験には作文の問題を出します。作文のタイトルは当日 (に) 発表しま
す。=その日 (に) ในการสอบจะออกข้อสอบเรียงความ หัวข้อเรียงความจะ
ประกาศในวันสอบ =ในวันนั้น

- [出来事を表す名詞（試験、試合、事故など）を含む文 ประโยคที่มีคำนาม แสดงเหตุการณ์ เช่น สอบ แข่งขัน อุบัติเหตุ เป็นต้น + その名詞 คำนามนั้น + (の) + 当日 (に)] “ (ใน) วัน~”, “ (ใน) วันนั้น”

試験には作文の問題を出します。作文のタイトルは試験 (の) 当日 (に) 発表しますในการสอบจะออกข้อสอบเรียงความ หัวข้อเรียงความจะประกาศในวันสอบ = ในวันนั้น

7. 類義語

「親切的」と「優しい」、「参加」と「出席」のような頻度が高く、学習書の誤用が目立つ類義語は、誤用例 (×) も挙げつつ、明瞭な解説を与えることが必要となる。下記は「書類」と「資料」の例である。「書類」の語義と「資料」の2番目の語義が、ともに“เอกสาร”なので、混同して使う学習者が多い。

(1) 書類 (名) [文字で何かを書いてある紙 กระดาษที่มีตัวอักษรเขียนอะไรสักอย่างไว้บนนั้น 文書] “เอกสาร”

書類を作る ทำเอกสาร

書類を作成する จัดทำเอกสาร

書類にサインをする เซ็นชื่อบนเอกสาร

ビザを申請するための書類を作成する จัดทำเอกสารเพื่อยื่นคำร้องขอวีซ่า

(2) 資料 (名) [報告をしたり、レポートを書いたり、研究をしたり、調査をしたりするためのもとなる材料 ข้อมูลหลักที่ใช้เพื่อรายงานหรือนำเสนอหรือทำการวิจัยหรือทำการสำรวจ]



① [データ ข้อมูลหลัก “ข้อมูล”]

レポートを書くための[資料]を集める × 書類 รวบรวม[ข้อมูล]เพื่อเขียน
รายงาน

研究のための[資料]を集める × 書類 รวบรวม[ข้อมูล]เพื่อทำการวิจัย

② [参考資料 เอกสารอ้างอิง “เอกสาร”]

(プレゼンテーションの時) お配りしてある[資料]をご覧ください。 × 書類
(ตอนที่นำเสนอ) ช่วยดู[เอกสาร]ที่แจกไว้

会議のための[資料]を準備する × 書類เตรียม[เอกสาร]สำหรับการประชุม

8. 用例・コロケーション

既存の単語集の用例は理解を目的としており、また、紙面の制約があるので、限られた数の用例しか掲載されていないが、この試みでは、使用を目的とするため、用例の数は多くなり、コロケーションの記述も充実させる。用例・コロケーションの採用基準は以下の通りである。

8. 1 用例は、学習者が使う可能性がある文を複数挙げ、学習者がそのまま使えるようにする。

8. 2 コロケーションとはある単語に対して結びつきやすい単語のことである。例えば、見出し語が「学生に貸与または給付される学資金」という意味での「奨学金」であれば、その語と共起しやすい動詞を掲載する。

奨学金で生活する、奨学金をもらう、大学から奨学金をもらう＝大学に奨学金をもらう、奨学金を借りる、大学から奨学金を借りる＝大学に奨学金を借りる、奨学金を返す、大学に奨学金を返す、奨学金を申請する、大学に奨学金を申請する、奨学金を申し込む、大学に奨学金を申し込む

8. 3 学習者が指導者が使う日本文が理解できるように、指導者がよく使う文も挙げる。例えば、「正解」の意味の「答え」であれば、「答えを教えてください」「答えは何ですか」「答えは何番ですか」「この答えは正しいですか」「答えがわかった人はいますか」などを掲載する。



9. 練習問題の必要性

特定のテーマの作文で必要となる語い、及び、文型の知識を整理する練習問題を設ける。例えば、家族について書かせる場合は、まず、家（いえ）と家（うち）の違いを確認する問題と家族を表現する文型を確認する問題が必要となる。

(1) 私は毎日5時に（ ）へ帰ります。

- ① 家（いえ） ② 家（うち）

(2) 私の（ ）は、祖母と母と私の3人家族です。

- ① 家（いえ） ② 家（うち）

=私の家族は、_____。

=私の家族は3人です。_____。

おわりに

本稿では、使用を目的としたタイ人日本語学習者用の語彙教材の開発とその作成方針を紹介した。教材は現在作成中であるが、完成時には、機会があれば、公表したいと思っている。

参考文献

ราชบัณฑิตยสถาน. (ม.ป.ป.). พจนานุกรมฉบับราชบัณฑิตยสถาน พ.ศ. 2554.

นานมีบุ๊ค. <https://dictionary.orst.go.th/>

ยุกิโกะ ยามาซากิ. (2558). 「日本語能力試験」対策日本語チャレンジことば N4 [เตรียมสอบวัดระดับ N4 คำศัพท์] (พิมพ์ครั้งที่ 7). สมาคมส่งเสริมเทคโนโลยี (ไทย-ญี่ปุ่น).

เอริโก อันโด, โยกะ เอยะ, ฮิโรโกะ อาเบะ, และ มิจิโกะ อิจิมะ. (2560). *どんなとき どう使う日本語語彙学習辞典* [พจนานุกรมศัพท์ญี่ปุ่น ระดับกลาง-สูง] (พิมพ์ครั้งที่ 1). สมาคมส่งเสริมเทคโนโลยี (ไทย-ญี่ปุ่น).



ARC ACADEMY. (2561). **はじめての日本語能力試験 N4 単語 1 5 0 0.**

[1,500 คัพท์ JLPT N4]. (พิมพ์ครั้งที่ 1). สมาคมส่งเสริมเทคโนโลยี (ไทย-ญี่ปุ่น).

OxfordLanguages. (n.d.) Oxford University Press.

<https://languages.oup.com/google-dictionary-ja/>

เมーターπισวิตต์・タサニー. (2014). 「タイ人日本語学習者の辞書使用実態と語彙教材作成の試み」.

<http://jhlee.sakura.ne.jp/JEV/2014/tasanee.pdf>

デジタル大辞泉. (n.d.)

<https://www.weblio.jp/category/dictionary/skdj>

萩原廣. (2021). 「日本語教育における使用語彙の選定について」

(1)」『京都語文』archives.bukkyo-u.ac.jp.

山口紗季&山下直子. (2020). 「日本語教育における語彙指導の重要性—訳語付き narrow reading による語彙導入の提案—」『香川大学教育学部研究報告』(3). 25-33.